

## 第19回さがみ自然フォーラムに参加

令和2年2月6日から11日まで、あつぎ市民交流プラザ（アミューあつぎ）で開催された第19回さがみ自然フォーラムに参加しました。このフォーラムは、厚木市民や関係団体の調査・研究活動を通して、生物多様性や自然環境保全の大切さを広く伝えるために行われています。今年 は赤とんぼの減少した原因を探る企画展も行われ、愛川町内で実施した調査結果からネオコチノイド系農薬が原因であると、自然環境を破壊する農薬の使用に警鐘を鳴らしていました。その他、御蔵島のオオミズナギドリ繁殖地保護に関する取り組みなど、興味深い発表が多数行われました。

野生動物救護の会は、人と野生動物のより良い共生を実現するために取り組んでいる活動についてパネル展示と活動報告を行いました。パネル展示では野生動物の救護活動やバードストライク防止への取り組みに加えて、痕跡調査班（BeasTrace）の実施した厚木市七沢に生息する野生動物の生態調査の結果をまとめたポスターを展示し、水源林の中には多くの野生動物たちが暮らしていること、その水源林を整備して自然環境を保全することの重要性を来場者に訴えました。活動報告では会員の小林夏子さんが、自動撮影カメラを使用した水源林内での鳥類調査の結果を発表しました。厚木市には、日頃から普通に見られる鳥に加えて神奈川県レッドリストに掲載されている希少な鳥類が生息していることを撮影した動画を用いて報告し、聴衆の耳目を集めていました。是非、次回のフォーラムにおいても今回を上回る活動成果を報告し、多くの方たちに野生動物と自然環境の保護に対する関心を高めてもらいたいと思います。尚、痕跡調査班の活動は「もり・みず市民事業支援補助金」を受けて行われました。

遠藤順一

